

保健福祉、4人に助成金 大同生命厚生事業団が贈呈



県内で助成金を受けた4人ら＝岐阜市吉野町、大同生命岐阜支社

大同生命厚生事業団(本部大阪市)は19日、県内で地域住民の健康などに関する研究に取り組み4人に、それぞれ助成金30万円を贈った。

同事業団は「地域保健福祉研究」「シニアボランティア活動」「ビジネス・パーソンボランティア活動」の3分野で個人や団体を支援する助成事業を行っている。本年度は全国から238件の応募があり

選んだ124件に総額2千万円を助成する。

助成事業の県内分は岐阜新聞・ぎふチャンネルが後援。県内からはいずれも地域保健福祉研究の分野で、笠松町社会福祉協議会・笠松町地域包括支援センター長荒木篤さん(52)、県保健環境研究所(各務原市)の生活科学部長伊藤哲朗さん(44)、専門研究員永井宏幸さん(43)、研究員水野卓也さん(29)が選ばれた。

岐阜市吉野町の大同生命岐阜支社で助成金贈呈式が開かれ、藤井信寿支社長(43)から一人一人贈呈状を受け取り、感謝や抱負を述べた。このうち荒木さんは患者の在宅医療・介護への移行をスムーズにするモデルづくりを目指していると説明し、「高齢者が地域で安心して暮らしていけるよう頑張りたい」と語った。(井上愛)